

10月

October

5	■兵庫医科大学	大学院前期入学試験合格発表	→P14
6・7	■兵庫医療大学	海泉祭(大学祭)	→P19
6	■兵庫医療大学	第2回ホームカミングデイ	→P21
7	■兵庫医療大学	職業理解イベント	→P20
10	■兵庫医科大学病院	市民健康講座「嗅覚の話」	
14	■兵庫医療大学	入試説明会(岡山)	
15	■兵庫医科大学病院	フロンティア医療セミナー	→P24
	■兵庫医療大学	ボーアイ4大学総合防災訓練	
16	■兵庫医科大学	篤志解剖体慰霊祭	→P13
	■兵庫医科大学	特別講義「医師という職業を一生充実して過ごすために」	
18	■兵庫医科大学	兵庫医科大学FD講演会 「医療発展のための臨床病院での取り組みー勤務医の活性化をめざしてー」	
21・27	■ささやま医療センター	篠山教職員共済会日帰り旅行	
	■兵庫医療大学	国際セミナー：看護麻酔師からみたアメリカの看護	→P7
24	■兵庫医科大学病院	市民健康講座「正しく怖がろう 放射線被曝」	
	■兵庫医科大学	兵庫医科大学医学会学術講演会	
25	■ささやま医療センター	平成24年度第1回感染症及び医療安全管理に関する講習会	
	■兵庫医科大学病院	日本マクドナルド ドナルドによる小児病棟慰問	→P23
25・26	■兵庫医療大学	平成24年度設置計画履行状況等 実地調査(文部科学省)	
26	■兵庫医療大学	「デンマークの福祉・医療に関する実際を知り、日本の保健医療の将来…ライフオリティ考えてみませんか？」	
	■兵庫医科大学病院	小児病棟絵本の読み聞かせイベント	→P23
29	■兵庫医療大学	仕事研究セミナー ～甲子園球児から理学療法士へ～	→P21
30	■学校法人兵庫医科大学	自衛消防訓練(基本訓練)	
		ささやま老健運動会	→P26
31	■ささやま医療センター	ささやま院内保育所の園児のハロウィンイベント	→P26

10/24

■兵庫医療大学

国際セミナー：看護麻酔師からみたアメリカの看護

アメリカでCRNA(麻酔専門看護師)として36年間ご活躍されたMINORI THORPE先生をお迎えし、第2回国際セミナー『看護麻酔師からみたアメリカの看護』が開催されました。

MINORI THORPE先生は看護師として日本で3年間の臨床経験を経て、アメリカのミシガン大学麻酔看護師専門学校を卒業し、CRNAの資格を取られました。アメリカへ行きたいと思われたきっかけや、アメリカの看護の状況や変遷など、ご自身の経験を交えわかりやすくご講演いただきました。看護学部2年生は「母性看護学概論」の特別講義として参加しており、熱心に耳を傾けていました。



11月

November

2	■兵庫医療大学	大学院薬学研究科設置認可	
3	■兵庫医療大学	推薦入試(専願公募制)	
4・10	■ささやま医療センター	篠山教職員共済会日帰り旅行	
4	■兵庫医療大学	推薦入試(公募制A日程)	
5	■兵庫医科大学	利益相反セミナー	→P8
6	■兵庫医科大学病院	医療監視	
	■兵庫医科大学病院	市民健康講座「認知症について」	
7	■兵庫医療大学	平成24年度設置計画履行状況等 実地調査(文部科学省)	
9	■兵庫医科大学病院	FD講演会「医のプロフェッショナリズム」	
11	■兵庫医科大学	地域指定制推薦入学試験 一般公募制推薦入学試験	
13	■兵庫医療大学	推薦入試合格発表(専願公募制・公募制A日程)	
15	■兵庫医療大学	仕事研究セミナー ～がん看護CNSの概要について～	→P21
	■兵庫医科大学	地域指定制推薦入学試験合格発表 一般公募制推薦入学試験合格発表	
17	■兵庫医療大学	「ボーアイ4大学による連携事業」公開講座 「脳の若返り～キーワードはバランス～」	
17～18	■兵庫医科大学	第41回大学祭「醫聖祭」開催	→P15
18	■兵庫医療大学	入試対策講座＆大学見学会	→P8
	■兵庫医科大学病院	第4回フロンティア医療セミナー	→P24
20	■兵庫医療大学	自衛防災訓練	→P8
21	■兵庫医科大学	学長フォーラム	→P6
22	■兵庫医科大学	開学40周年記念式典	→P3
23	■兵庫医療大学	入試説明会(松江)	
25	■兵庫医療大学	入試説明会(広島)	
27	■兵庫医療大学	第4回国際交流講演会 イギリスにおけるチーム医療の実践 ー過去・現在・未来ー	
27	■兵庫医療大学	スポーツ大会	→P22
28	■兵庫医科大学病院	市民健康講座「津波が起こった時、あなたは どうしますか?～いざという時の備え～」	
30	■学校法人兵庫医科大学	自衛消防訓練(総合訓練)	→P8

11/5

■兵庫医科大学

利益相反セミナー

利益相反に関する啓発活動の一環として、東京医科歯科大学 研究・産学連携推進機構 准教授、産学連携推進本部産学連携研究センター長である飯田香緒里氏を招聘し、「医学研究と利益相反(COI)マネジメントの必要性」と題してご講演をいただきました。本学では、平成21年4月に兵庫医科大学利益相反マネジメント規程を制定し、利益相反マネジメント委員会の体制を整備しています。



11/18

■兵庫医療大学

入試対策講座＆大学見学会

昨年はオープンキャンパスのプログラムとして夏に開催していた「入試対策講座」ですが、本年は独立イベントとして11/18(日)に開催しました。一般入学試験の受験を考えている高校生を対象とした本イベントでは、予備校の講師を招いて「英語」「化学」「生物」3科目の本学入試傾向や今後の試験対策に関する講義を行い、多くの高校生が真剣な眼差しで受講しました。

なお、当日は大学見学会も併せて開催され、来場者は在学生スタッフ・教職員と各種相談コーナーやキャンパスツアー等で交流し、入学意欲が一層高まっていたようです。



11/20

■兵庫医療大学

自衛防災訓練

平成24年11月20日、学生、教職員を対象とした自衛防災訓練を実施しました。

当日は、P棟2階地域連携実践センターから火災が発生したという想定のもと、薬学部・看護学部・リハビリテーション学部の1年生と教職員が防災訓練に参加しました。校内放送で火災発生がアナウンスされると、教職員が出火場所を確認、その後に学生は教職員の誘導のもと、速やかに避難場所であるグラウンドへ避難しました。

消火器や消火栓を使った消火活動も体験し、非常事態に備える訓練を行いました。



11/30

■学校法人兵庫医科大学

自衛消防訓練(総合訓練)

深夜帯に1号館9階東病棟器材庫から出火したとの想定で、教職員による自衛消防訓練を実施しました。

深夜帯の火災発生時における通報、初期消火及び避難誘導の訓練を目的とし、防火意識の高揚、自衛消防隊の各班の迅速かつ的確な措置行動の習熟が図られました。

患者さんの容体に合わせてイーバックチェアやバスケット・ストレッチャーを用いて避難を行うとともに、鳴尾消防署にご協力いただき、はしご車による救助、消火器を用いた消火訓練も行いました。





ポスト40周年

兵庫医科大学 学長 | 中西 憲司

教職員の皆様方、明けましておめでとうございます。はじめに、今年が皆様にとりまして、素晴らしい年であることをお祈りいたします。

昨年は開学40周年に相応しい素晴らしい年でした。教職員、学生そして卒業生の誰もが、本学がこの40年間に如何に成長したかを実感できたことと思います。以下、カレンダーの順に述べてみます。

卒業生達は2月に実施された第106回医師国家試験で合格率日本一という金字塔を打ち立てました。4月にあった平成24年度の科学研究費補助金交付内定額も総額289,770千円となり、年々右肩上がりとなっております。また、平成24年10月の某週刊誌の病院評価でも、兵庫県内で兵庫医科大学病院が最も頼れる病院部門で第1位、西日本部門で第3位となっております。これらの成果は、教職員が一体となっているからこそ得られたと思っております。陸上の400メートル、1600メートルリレーあるいは駅伝で、また球技ならサッカー、野球、ラグビー、バレーボールといった団体競技で、人から人にバトンが、あるいはたすきが、あるいはボールがつながったからだと思います。昨年はまた、11月5日に野口光一教授が兵庫県科学賞を受賞され、11月10日に岡村春樹特任教授と私が第55回野口英世記念医学賞を、共同受賞いたしました。この様な権威ある賞を受賞できたのは、勿論個人の努力も必要ですが、大学全体の研究レベルが高いことの証と私は考えております。そして11月21、22、23、24日と40周年記念行事が続きましたが、教職員の皆様の素晴らしい団体プレーが見られました。大きな行事をすることで、人間は成長いたします。40周年記念事業を経験したことで、誰もが大きく成長したことと思います。

今年は、大きく成長した教職員がさらなる高みを目指して行動する年です。今年も、人と人を繋いで、素晴らしい大学にするために頑張りましょう。

遺伝学振津かつみ非常勤講師 核のない未来賞 受賞

遺伝学講座 振津かつみ非常勤講師が、チェルノブイリ原発事故の被災者支援や福島第一原発事故後、住民の健康相談などに携わった医師として、核兵器廃絶などに取り組む個人や団体に贈られる「核のない未来賞」を受賞しました。「核のない未来賞」はドイツの「フランズモール財団」が毎年選出しているもので、平成24年9月29日、スイスにて授賞式が行われました。

「ヒロシマ・ナガサキ、チェルノブイリとフクシマを繋ぐ」

遺伝学 非常勤講師 振津 かつみ



1992年にザルツブルグで、世界中の核被害者、特にウラン採掘や核実験の被害を受けた先住民が集まり「世界ウラン公聴会」が開催されました。それを契機に、「将来世代のために核(被害)のない世界をめざす」活動を奨励しようと始められたのがこの賞です。これまで医師として携わってきた原爆被爆者の健康管理や、チェルノブイリ被災者支援などの経験を、フクシマ事故の被災地でどう活かすかがこれからの自分の課題だと思っています。

腫瘍免疫制御学 岡村 春樹 特任教授 兵庫医科大学学長／免疫学・医動物学講座 中西 憲司 主任教授 第55回野口英世記念医学賞 受賞



財団法人野口英世記念会が日本の医学研究に何らかの貢献を行いたいとの趣旨より創設した野口英世記念医学賞は、野口博士の業績に関係のある優秀な医学研究に対し、その功績を表彰しています。

このたび、岡村特任教授と中西学長が「インターロイキン-18 (IL-18)の発見とその生体防御における役割」の研究にて第55回野口英世記念医学賞を受賞し、平成24年11月10日に野口英世博士の生誕地である福島県猪苗代で開催された授賞式に出席されました。

授賞式では、笹川 千尋選考委員より選考経過の報告の後、野口英世記念会の高添 一郎会長より賞状が手渡され、前後 公 猪苗代町長、佐藤 雄平 福島県知事、那谷屋 正義 文部科学大臣政務官、中川 俊男 日本医師会副会長、山西 弘一 医薬基盤研究所理事長より祝辞をいただきました。その後、岡村特任教授、中西学長よりこの度の受賞研究についての記念講演が行われました。

授賞式には新家理事長、波田副理事長、免疫学・医動物学講座と腫瘍免疫制御学の方々なども駆けつけ、栄誉ある賞を受賞されたお二人を祝福しました。



兵庫医大の中皮腫研究が武田科学振興財団「特定研究助成」に採択されました

内科学呼吸器・RCU科 主任教授 中野 孝司



呼吸器内科の中野を研究代表者として応募した「悪性胸膜中皮腫に対する次世代治療戦略の構築」が武田科学振興財団の2012年度特定研究助成(助成金: 6,800万円)に採択され、11月12日にシェラトン都ホテル東京で贈呈が行われました。

同財団の「特定研究助成」は、我が国の医学の発展に向け、研究機関が総力をあげて取り組む共同研究(学内または複数の融合研究)に対して助成するもので、申請機関の注力研究・特有の研究、難病疾患研究などを重視した先見性・独創性の高い研究が該当します。同特定研究助成は本学では初めての採択であり、本学における中皮腫研究の取り組みが評価されたものと考えております。

中皮腫は極めて難治性の悪性腫瘍であり、先進諸国では急増がみられ、我が国ではこの10年間に約2倍に増えています。従来、本学では2006年から悪性胸膜中皮腫の早期診断法の樹立、標準的治療法の確立に向けた取り組みを科学技術振興調整費(文部科学省: 5年間)で行い、続いて臨床面は厚生労働科学研究費(がん臨床研究)により治療法の開発を推進し、基礎研究は文部科学省次世代がん研究シーズ戦略的育成プログラムの「難治癌に対する分子プロファイリングによる新規分子標的の同定を通じた治療法の開発」の競争的研究資金を得て、現在、解析を進めているところです。

今回の採択課題は、兵庫医大で解明されてきた中皮腫細胞の発育・遊走メカニズムの基礎研究成果を基にして、次世代治療法の構築を目指した画期的な臨床研究です。右記の担当者が総力を挙げて取り組む共同研究であり、中皮腫の予後向上に結びつくものであります。皆様の御支援を頂けましたら幸いです。

主任研究者: 中野孝司(内科学呼吸器・RCU科: 主任教授)
共同研究者: 西崎知之(生理学講座生体情報部門: 主任教授)
長谷川誠紀(呼吸器外科学講座: 主任教授)
辻村 亨(病理学講座分子病理部門: 主任教授)
上紺屋憲彦(放射線治療センター: 教授)
廣田省三(放射線医学講座: 主任教授)
田端千春(内科学呼吸器・RCU科: 准教授)
福岡和也(がんセンター: 准教授)
関戸好孝(愛知がんセンター分子腫瘍学部: 部長)
田中文啓(産業医科大学第2外科: 教授)
横井香平(名古屋大学大学院医学研究科病態外科学講座: 准教授)

解剖学神経科学部門 野口 光一 主任教授 平成24年度 兵庫県科学賞を受賞

解剖学神経科学部門の野口光一主任教授が、平成24年度兵庫県科学賞を受賞し、平成24年11月5日、兵庫県公館にて井戸敏三兵庫県知事より表彰状の贈呈式が行われました。

兵庫県科学賞は、科学技術の研究に熱心な者で、その研究成果が科学技術の向上に著しく寄与すると認められるものに贈られる賞で、表彰状には受賞理由として「あなたは疼痛研究の第一人者として、難治性疼痛のメカニズムを分子レベルで解明し新たな治療法の開発に貢献するとともに、国内外の学会活動を通じて研究成果を発信し、疼痛治療の国際的な普及に努めるなど、医学の発展に尽くされました。」と記されています。



「兵庫医大での疼痛研究19年と仲間たち」

解剖学神経科学部門 主任教授 野口 光一



11月5日に兵庫県公館にて行われた贈呈式に妻と共に出席し、知事より兵庫県科学賞の表彰状をいただきました。とても光栄に感じると共に、私の研究を支えて下さいました兵庫医科大学の執行部の皆様に心より御礼申し上げます。

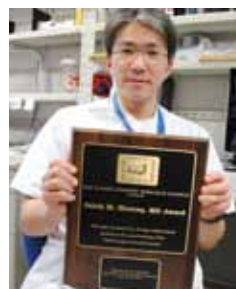
私が疼痛研究を始めましたのは大学院に入学した1986年で、整形外科の臨床をしていて患者さんの大半が痛みを訴えるわりには痛みについて何も判っていない、という問題意識が始めでした。以後、米国留学、和歌山県立医科大学赴任、そして1994年に兵庫医科大学第2解剖学教授としての着任以降も、ずっと疼痛研究一筋で継続してまいりました。これまでに兵庫医科大学で一緒に研究した仲間は、現スタッフ、大学院生を含めて50名を数え、彼らの頑張りのお蔭で今回

の受賞があるのは間違いなく、深く感謝したいと思っています。疼痛基礎研究の実践以外に、疼痛に関する学会活動にも積極的に参画してまいりました。疼痛に関する世界の中心的学会である国際疼痛学会の理事在任中に、初めてのアジアでの学会開催のために奔走し、日本開催を決定出来たことは日本の疼痛研究・診療のために大きかったと思います。今後とも世界の疼痛研究をリード出来るよう精進する所存ですので、皆様方のご支援をお願いするとともに、関係各位に深く感謝致します。



The Shenq International Research Award 受賞

形成外科 准教授 河合 建一郎



昨年6月に私どもがアメリカのミシガンにて開かれた第57回Plastic Surgery Research Councilにおいて発表した“Calcium-based nanoparticles accelerate wound healing”が同学会にてThe Shenq International Research Awardに選ばれました。

本研究はStanford大学形成外科教室と共同で行ったものです。高濃度の血清を含んだ培地で細胞培養をしているとバクテリア様に増殖してくる直径1μm以下の微小なものがあり、以前これはNanobacteriaと呼ばれ非常に小さな(最小の)細菌と考えられていました。生体内でも動脈硬化巣といった異常石灰化病変部に多く見られるため、Nanobacteriaがこのような病気を引き起こすと考えられる研究者もいたのですが、近年これは生物ではなく血清中のアルブミンなどのカルシウム結合蛋白を核としてカルシウムや核酸、蛋白などが層状にとりまいてできる血清由来の“Nanoparticle”であることが判明しました。私どもはこのNanoparticleの生理活性、特に創傷治癒への関わりについて研究を行い、Nanoparticleが創部の局所カルシウムホメオスタシスをコントロールすることで創傷治癒に関わることを明らかにしました。

今回の受賞を励みに、今後も研究を発展させ創傷治癒メカニズムを解明していきたいと思っています。

日本脳循環代謝学会 Young Investigator's Award 受賞

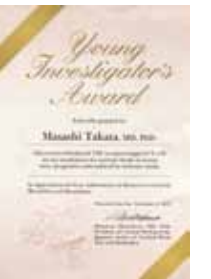
眼科 助教 田片 将士



平成24年11月8日～9日に広島市で開催されました第24回日本脳循環代謝学会総会にてYoung Investigator's Awardのファイナリスト5人のうちの1人に出選され、YIAセッションにおける口頭発表の結果、最優秀賞を授与されることとなりました。

受賞した研究は脳虚血後に神経幹細胞が誘導されることを発見されました当大学の先端医学研究所 神経再生研究部門の松山知弘教授の指導のもとで行った研究で、活性化T細胞上のGITR制御により虚血誘導性神経幹細胞の生存を高めることができるという研究結果です。これは中枢神経系における内在性神経再生療法に繋がる研究成果と思われます。このような栄誉ある

賞を頂きましたのも、この研究に際して御指導頂きました諸先生方のおかげであると感謝しております。この受賞に恥じぬように、また、母校である兵庫医科大学の発展の一助となれるように頑張りたいと思いますので、これからも御指導のほど何卒よろしくお願い致します。



財団法人等各種団体による研究助成金等の交付状況

(単位:千円)

助成団体名	研究課題名	研究者	交付額
(公財)黒住医学研究振興財団	ムンプスウイルスに対する細胞性免疫の測定法の確立	大谷 成人	800
(公財)住友財団	Long Interspersed Element 1 の中枢神経機能への影響	奥平 准之	1,900
(特非)日本心臓リハビリテーション学会	終末期心臓疾患における心臓リハビリテーションチームの使命	高橋 敬子	500
(公財)内藤記念科学振興財団	アレルギー性鼻炎発症機序の解明と新規治療薬の開発	善本 知広	3,000

学位授与

学位記(甲)

報告番号	氏 名	専攻系	授与年月日	博 士 論 文 名
甲第595号	村瀬 慶子	医科学	H23.3.31	Biological characteristics of luminal subtypes in pre- and postmenopausal estrogen receptor-positive and HER2-negative breast cancers
甲第596号	新開(妻野)知子	医科学	H23.3.31	A new mouse model of impaired wound healing after irradiation
甲第597号	寺田 貴普	医科学	H24.7.5	Clinical utility of 18-fluorodeoxyglucose positron emission tomography/computed tomography in malignant pleural mesothelioma
甲第598号	久野 隆史	医科学	H24.9.6	Alterations of the base excision repair gene <i>MUTYH</i> in sporadic colorectal cancer
甲第599号	山岸 大介	医科学	H24.10.4	Clinicopathological characteristics of rectal carcinoid patients undergoing surgical resection
甲第600号	吉見 宣子	先端医学	H24.11.1	Epithelial keratin and filaggrin expression in seborrheic keratosis-Evaluation based on histopathological classification
甲第601号	寺嶋 真理子	医科学	H24.11.1	The effects of n-3 Polyunsaturated Fatty Acid-Rich Total Parenteral Nutrition on Neutrophil Apoptosis in a Rat Endotoxemia

学位記(乙)

報告番号	氏 名	専攻系	授与年月日	博 士 論 文 名
乙第341号	内田 景博	環境予防医学	H24.7.5	Associations of atherosclerotic risk factors with oxidized low-density lipoprotein evaluated by LOX-1 ligand activity in healthy men
乙第342号	武村 政徳	機能病理学	H24.10.4	Determination of Anaerobic Threshold by the Breakpoint of Locomotor Respiratory Coupling
乙第343号	友金 祐介	脳神経外科学	H24.11.1	Usefulness of PRESTO-MRI Study for the Differentiation between Schwannoma and Meningioma in the Cerebellopontine Angle

教授就任



泌尿器科学
野島 道生
平成25年1月1日就任

略歴

昭和59年	3月	三重大学 医学部 卒業
	7月	大阪大学医学部附属病院泌尿器科 研修医
昭和60年	7月	大阪府立病院泌尿器科・麻酔科 研修医
昭和61年	7月	兵庫県立西宮病院泌尿器科 医員
平成元年	9月	箕面市立病院泌尿器科 医員
平成3年	7月	兵庫医科大学泌尿器科学 助手
平成12年	1月	兵庫医科大学泌尿器科学 講師
平成21年	7月	兵庫医科大学泌尿器科学 准教授
平成23年	7月	兵庫医科大学腎移植センター 副センター長(兼任)
平成25年	1月	兵庫医科大学泌尿器科学 教授

平成24年度 兵庫医科大学 篤志解剖体慰霊祭

平成24年10月16日、平成記念会館において、平成24年度兵庫医科大学篤志解剖体慰霊祭が執り行われました。医学教育・研究及び医療の進歩と発展のために、自らのご遺体を捧げられた方々を祭祀するため、本学では毎年10月第3火曜日に無宗旨形式で執り行っております。

平成23年10月1日から平成24年9月30日の期間に、その身を解剖に捧げられた、系統解剖ご霊位52柱、病理解剖ご霊位37柱のあわせて89柱を祭祀させていただきました。

式はご霊位の奉読に始まり、全員黙祷に続いて中西学長、太城病院長、解剖担当教室を代表して辻村主任教授による慰霊の詞、西宮市長から弔辞の詞をいただきました。続いて、学生代表の第2学年次 小野雅敬さんより謝意の詞が述べられ、解剖担当教室の関主任教授からはご遺族の方への謝意が述べられました。その後、故人のご冥福をお祈りして参列者全員による献花が行われ、本学教職員並びに学生は、

ご霊位に対し医学・医療の向上に寄与することを誓いました。

ここに、あらためて全ての御霊のご冥福をお祈り申し上げますとともに、ご遺族の皆様の深いご理解に対し、心から御礼申し上げます。



中西学長による慰霊の詞

内科学(下部消化管科)松本 馨之 主任教授 ご逝去

兵庫医科大学内科学(下部消化管科)松本馨之主任教授におかれましては、平成24年10月21日にご逝去されました。

ここに生前のご厚誼を深謝し、謹んでご冥福をお祈りいたします。

※平成24年12月15日挙行の兵庫医科大学葬については次号の広報220号にて掲載します。

平成25年度 兵庫医科大学 医学部入学試験 速報

推薦入学試験

一般公募制推薦入学試験

試験期日：平成24年11月11日(日)

試験科目：基礎学力検査、小論文、面接

合格発表：平成24年11月17日(土)

募集人員	約15名
志願者	58名(39名)
受験者	58名(39名)
合格者	14名(10名)
実質競争倍率	4.1倍 (5.3倍 地域公募併願者を含む)

※実質競争倍率は「受験者/合格者」()内は、女子・内数

地域指定制推薦入学試験

試験期日：平成24年11月11日(日)

試験科目：基礎学力検査、小論文、面接

合格発表：平成24年11月17日(土)

募集人員	5名以内
志願者	33名(14名)
受験者	33名(14名)
合格者	5名(2名)
実質競争倍率	6.6倍

※実質競争倍率は「受験者/合格者」()内は、女子・内数

一般入学試験、大学入試センター試験利用入学試験がこれから始まります！

一般入学試験

募集人員	約75名
出願期間	平成24年12月17日(月)～平成25年1月15日(火) 消印有効
試験科目	第1次試験：数学(150点)、外国語(150点) 理科(物理、化学、生物から2科目選択)(200点) 小論文 第2次試験：面接
試験期日	第1次試験：平成25年1月23日(水) 第2次試験：平成25年2月2日(土)または3日(日) (希望日を出願時に選択)
試験会場	第1次試験 大阪会場：インテックス大阪 東京会場：TOC有明 福岡会場：福岡国際会議場 第2次試験 兵庫医科大学
合格者発表	第1次試験：平成25年1月31日(木) 第2次試験：平成25年2月8日(金)

大学入試センター試験利用入学試験

募集人員	約15名
出願期間	平成24年12月17日(月)～平成25年1月18日(金) 消印有効
試験科目	第1次試験：国語(近代以降の文章のみ)、数学(数学Ⅰ・数学A、数学Ⅱ・数学B)、理科(物理Ⅰ、化学Ⅰ、生物Ⅰから2科目選択)、英語(筆記・リスニング) 第2次試験：面接
試験期日	第1次試験：大学入試センター試験日 第2次試験：平成25年2月20日(水)
試験会場	第1次試験：大学入試センターが指定する試験会場 第2次試験：兵庫医科大学
合格者発表	第1次試験：平成25年2月14日(木) 第2次試験：平成25年2月25日(月)

平成25年度 兵庫医科大学 大学院入学試験 速報

前期入学試験結果

医学研究科入学試験(前期募集)

試験期日：平成24年9月14日(金)

試験会場：兵庫医科大学

選考方法：外国語試験、面接

合格発表：平成24年10月5日(金)

受験者	14名
合格者	12名

これから始まります！

医学研究科入学試験(後期募集)

出願期間	平成25年1月21日(月)～2月2日(土)
試験期日	平成25年2月15日(金)
試験会場	兵庫医科大学
選考方法	①外国語試験 ②面接(担当教授との面接が終了している場合には免除することがある)
合格発表	平成25年3月15日(金)

過程を経ない学位申請者に対する外国語試験(第59回)

試験期日：平成24年9月14日(金)

試験会場：兵庫医科大学

選考方法：外国語試験

合格発表：平成24年10月5日(金)

受験者	6名
合格者	4名

過程を経ない学位申請者に対する外国語試験(第60回)

出願期間	平成25年1月21日(月)～2月2日(土)
試験期日	平成25年2月15日(金)
試験会場	兵庫医科大学
選考方法	外国語試験
合格発表	平成25年3月15日(金)

※詳しくは平成25年度学生募集要項をご確認ください。

兵庫医科大学 第41回 医聖祭

平成24年11月17日(土)、18日(日)に第41回大学祭「医聖祭」を開催しました。初日は昨年に引き続きあいにくの雨となり、中庭でのイベントは3-3講義室での開催となりましたが、天気のを吹き飛ばすようなにぎやかな盛り上がりを見せていました。



～One for all, All for one～

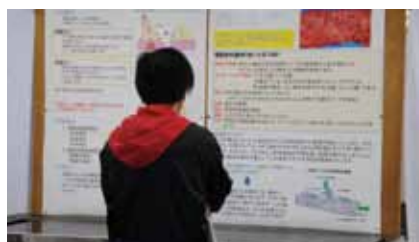
この大学祭を通じて全員一体となってやってやろうという思いが込められています。一緒に大学祭を作り上げてきた仲間と、忘れられない一生の思い出ができました。

解剖展示・医療器具展示

11月17日・18日

医療・医学への興味・関心を深めていただけるよう、様々な医療器具が展示され、学生が来場者に分かり易く説明します。

解剖展示の今年のテーマは「てんかん」。老若男女、誰にでも発症する可能性のあるこの病気についてパネル展示が行われました。



ベトナム・カンボジア写真展

11月17日・18日

5号館1階のロビーにて、ベトナムで写真活動をしている西村洋一さんの写真と共に、実際にベトナム・カンボジアに行った学生の写真が展示されました。



バザー

11月17日

今年もたくさんの方にお越しいただき、大盛況でした。



美術部・写真部 作品展示

11月17日・18日

平成記念会館のエントランスに部員たちの作品を展示しました。新家理事長の絵画をはじめ、教職員による絵画・写真も飾られ、まるで美術館を訪れたような力作ぞろいの展示となりました。



医学講演会 11月18日 平成記念会館

『過去、現在、そして未来へ』

阪神タイガース
岩田 稔投手

阪神タイガースの岩田稔投手をお招きし、医学講演会を開催しました。

岩田投手は、I型糖尿病を抱えながらプロ野球選手として活躍され、2009年には第2回WBC日本代表にも選出されています。

講演会は学生の丸尾くん司会のもと、3部構成で進められ、第1部は「糖尿病とアスリート」と題して、一般の方にも理解しやすく糖尿病について知っていただけるよう、大の阪神ファンという生理学の西崎主任教授と学生の池田さんに登場いただき、講義形式にて進められました。岩田投手は、糖尿病については、「先生の指示に従って、きっちりとしていれば大丈夫」と、日常生活でも特に意識をせず、自然でいるのがいいのではと語り、観客の皆さんも時にうなずきながら真剣にお話を聞いていました。

第2部はバラエティー企画として佐加良准教授と学生による、質問・クイズなどで岩田投手に野球への思いなどを語っていただきました。第3部は観客の皆さんからの質問コーナーとして、様々な質問にお答えいただき、観客の皆さんにもお楽しみいただきました。

医学講演会の後には、小児科病棟を訪れ、糖尿病についてのお話や、様々な質問にお答えいただきました。岩田投手と同じI型糖尿病の患者さんもおられ、岩田投手の言葉に勇気づけられたようでした。

ブレイルームでのお話の後には、参加できなかった患者さんのお部屋を回り、サインや写真に答えていただきました。



イベント

初日は雨のため、中庭特設ステージで開催予定だったイベントはすべて3-3講義室での開催に変更となりました。各種イベントでは、参加者からの掛け声や笑い声で会場がいっぱいとなり、雨にも負けず、大盛り上がりとなりました。

2日目は予定通り中庭で開催され、様々なイベントや模擬店などが行われました。



開会式



大学祭実行委員長の小泉宣さん、廣田篤さんが医聖祭の開会を宣言！

FOOD FIGHT



ハンバーガーとかき氷の早食い対決！観客からも大きな声援が飛び交いました。

ビンゴ大会



豪華景品が目白押し！

芸人お笑いライブ



FUJIWARA、シャンブーハット、女と男の豪華3組のゲストにお越しいただきました。会場は立ち見もでるほどの盛況ぶりでした。

平成25年度 兵庫医療大学 入学試験 速報

推薦入学試験結果

試験会場：兵庫医療大学
選抜方法：薬学部 専願公募制・公募制A日程・・・外国語、理科(化学)、調査書 公募制B日程・・・理科(化学)、調査書
看護学部・リハビリテーション学部・・・外国語、小論文、調査書

学部学科	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	実質倍率
薬学部 医療薬学科	20名	45名	45名	30名	1.5倍
看護学部 看護学科	30名	178名	178名	33名	5.4倍
リハビリテーション学部 理学療法学科	10名	100名	100名	13名	7.7倍
リハビリテーション学部 作業療法学科	15名	40名	40名	15名	2.7倍

※実質競争倍率は「受験者／合格者」

学部学科	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	実質倍率
薬学部 医療薬学科	15名	94名	93名	55名	1.7倍

学部学科	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	実質倍率
薬学部 医療薬学科	10名	63名	63名	25名	2.5倍

一般入学試験、大学入試センター試験利用入学試験がこれから始まります！

一般入学試験

前期A日程

募集人員	薬学部 医療薬学科 35名 看護学部 看護学科 57名 リハビリテーション学部理学療法学科 20名 リハビリテーション学部作業療法学科 13名
試験科目	薬学部 外国語(100点)、数学(100点)、化学(100点)
	看護学部 外国語(100点)、国語(100点)、 化学・生物から1科目選択(100点)
	リハビリテーション学部 理学療法学科 外国語(100点)、数学(100点)、 化学・生物から1科目選択(100点)
	リハビリテーション学部 作業療法学科 外国語(100点)、国語(100点)、 化学・生物から1科目選択(100点)
出願期間	平成25年1月10日(木) ～ 平成25年1月24日(木) 消印有効 窓口出願 平成25年1月25日(金) 午前9時～午後5時
試験期日	平成25年 2月1日(金)
試験会場	薬学部 兵庫医療大学
	看護学部 神戸ポートアイランドホール(通称：ワールド記念ホール)
合格者発表	平成25年2月8日(金)

前期C日程

募集人員	薬学部 医療薬学科 15名
試験科目	化学(100点)、外国語・数学(1教科選択、2教科を受験した場合は高得点 の1教科を合否判定に使用)(100点)
出願期間	平成25年2月4日(月) ～ 平成25年2月12日(火) 消印有効
試験期日	平成25年2月17日(日)
試験会場	兵庫医療大学
合格者発表	平成25年2月22日(金)

大学入試センター試験利用入学試験

前期日程

募集人員	薬学部医療薬学科 5名 看護学部看護学科 5名 リハビリテーション学部理学療法学科 2名 リハビリテーション学部作業療法学科 2名
試験科目	薬学部 化学Ⅰ(100点)、外国語(100点) 生物Ⅰ・物理Ⅰから1科目選択(100点)
	看護学部 外国語(100点)、国語(100点)、 化学Ⅰ・生物Ⅰから1科目選択(100点)
	リハビリテーション学部 理学療法学科 外国語(100点)、国語(100点)、 化学Ⅰ・生物Ⅰ・物理Ⅰから1科目選択(100点) 数学①(数学Ⅰ・数学ⅠAから1科目選択)と 数学②(数学Ⅱ・数学ⅡBから1科目選択)の合計(100点) ※上記4教科から3教科選択、4教科を受験した場合は、 高得点の3教科を合否判定に使用
	リハビリテーション学部 作業療法学科 外国語(100点)、国語(100点)、数学(100点)
出願期間	平成25年1月10日(木) ～ 平成25年1月30日(水) 消印有効
合格者発表	平成25年2月8日(金)

平成25年度兵庫医療大学大学院入学試験 結果

看護学研究科入学試験

試験期日：平成24年9月29日(土)
試験会場：兵庫医療大学
選考方法：外国語、専門科目、面接
合格者発表：平成24年10月10日(水)

※平成25年1月26日(土)に、看護学研究科の2次募集入試と、薬学研究科の初年度入試を行います。

受験者	6名
合格者	4名

医療科学研究科入学試験

試験期日：平成24年9月29日(土)
試験会場：兵庫医療大学
選考方法：外国語、専門科目、面接
合格者発表：平成24年10月10日(水)

受験者	14名
合格者	10名

年頭のご挨拶
薬剤師国家試験を乗り越えて新たな展開を

兵庫医療大学 学長 | 松田 暉

皆様、明けましておめでとうございます。

兵庫医療大学はお蔭様で2年前には既に看護学部とリハビリテーション学部から卒業生を出し、国家試験成績も満足出来るものでありました。残る6年制の薬学部も今年の3月にその一期生が卒業していきます。また、大学院では修士課程の修了者が出るとともに、薬学部の博士課程も認可され現在学生を募集中であります。

このように本学卒業生の医療現場での活躍が大きな力となってきた中、本年も新たなステップを刻む節目の年になりました。年明けに我々が気持ちを新たにしてい取り組むことが幾つかあります。全学的には入試における受験生確保も重要ですが、何と言っても薬学部卒業生の国家試験において皆様のご期待に沿う成績を上げなければなりません。薬学部教員だけではなく大学一丸となって薬剤師国家試験を全員が合格できるよう、万全の支援を進めております。

全体の完成年度が終えた平成25年度からは、これまでの文科省の堅苦しい縛りから脱却し、自由度を増して更なる発展を目指す時期になります。これまでのチーム医療とボーダレス教育を軸とした教育、研究、そして社会貢献において一層特徴ある展開を進めることが求められます。18歳人口が減少する中、医療系大学間の競争がさらに激しくなってきましたが、兵庫医科大学との連携をさらに進め、医療総合大学としての特徴と魅力を明確に社会に示しながら、さらなる飛躍の年にしたいと思っております。本年もご支援の程、宜しく申し上げます。

平成24年度 共同研究推進助成金採択者一覧

標記助成金は、薬学部、看護学部、リハビリテーション学部、共通教育センターの学部間連携の研究プロジェクトに対して重点的に研究費を支援する目的で、研究活性化経費を財源として募集を行い、応募のあった申請を研究推進委員会で審査した結果、下記のとおり採択いたしました。

所属学部	職	研究代表者名	研究課題名	助成額
リハビリテーション学部	教授	川口 浩太郎	物理療法の発展的可能性 ー神経因性疼痛予防に関する研究ー	500,000円
薬学部	教授	前田 初男	在宅医療を支援する「モノ」と「コト」のインクルーシブデザイン研究	500,000円

財団法人等各種団体による研究助成金等の交付状況

所属学部	職	研究代表者名	研究課題名	助成団体名	交付額
看護学部	講師	堀口 和子	中・重度要介護者の在宅療養継続に関する家族対処評価モデルの構築およびそのモデルの利用可能性	日本生命財団	1,060,000円

リハビリテーション学部 作業療法学科 土肥 信之 教授 ご逝去

リハビリテーション学部 作業療法学科 土肥 信之 教授におかれましては、かねてより病氣療養中のところ平成24年11月4日に逝去されました。

ここに生前のご厚誼を深謝し、謹んでご冥福をお祈りいたします。

※平成24年12月22日挙行の兵庫医療大学葬については次号の広報220号にて掲載します。

幸福くろう ~Happiness for you~

涼しい秋風が吹き始めた10月、第5回海泉祭が開催されました。
 学生たちはこの日のために企画・準備を重ね、当日は先輩・後輩と一緒に、
 教職員、家族、友人、卒業生、近隣の方々との交流を深めることができました。



Slogan

今年のスローガン“Happiness for you”には、テーマである「幸福くろう」が来て頂いた方に幸せを届け、「海泉祭に来てよかった」と思ってもらえるような学祭にしたいという想いが込められています。



今年度のテーマに基づき、皆の“幸せだと思ふ瞬間”を集めた木を展示しました

医療講演会

講演：『～生活習慣病～ メタボ・ダイエットを体内時計から考える』

10/7(日)、オクタホールにて兵庫医科大学 小児科学 服部益治教授による医療講演会が開催され、一般の方や本学教職員、在学生が参加しました。生活習慣病の解説とともに、その予防として体内時計を意識して生活すべきであるという内容の講演に、会場へ来られた方は熱心に耳を傾けていました。



模擬店・展示

クラブ・サークルや学部学科ごとの模擬店26店舗と展示・体験4ブースが出店し、来場者へ積極的に話しかけるなど、各所でにぎわいを見せていました。



学部別イベント

薬学部

レストランにて、学生手作りの漢方茶と薬膳粥を来場者にふるまいました。健康に良い薬膳粥は、在学生はもちろんのこと、近隣の方にも大好評でした。



看護学部

“リラクゼーション”をテーマに「アロマオイルを用いた手浴」を実施。香りを楽しむだけでなく、日々の体の疲れとともに、心の疲れも癒された方も多かったようです。



理学療法学科

テーマは“自分の体を知ろう”。学生スタッフのサポートのもと、筋力測定やむくみとり、車いす体験、パラフィン体験を通して、理学療法に関係する様々な体験を行っていました。



作業療法学科

「革細工・プラバン作製」を実施し、世界でたった一つのキーホルダーを作製。学生スタッフのアドバイスをを受け、参加者は真剣に取り組んでいました。



職業理解イベント

平成24年10月7日、海泉祭(大学祭)の2日目に職業理解イベント「医療のお仕事体験してみませんか!」が行われました。

このイベントは、中学生・高校生をはじめとする多くの一般の方々に、本学教員が講師となつて、医師、薬剤師、看護師(助産師・保健師)、理学療法士、作業療法士について、医療の仕事を理解、体験していただけるよう、昨年度に引き続き実施されました。

医師体験ブース

血圧測定、打診器(柔らかいハンマー)を使った腱反射テストなどの診察体験や、医療用超音波装置(エコー)を使って、からだの内部を観察していただきました。



看護師体験ブース

聴診器を使って、人形の心臓の鼓動や体内の様々な音を聴いていただきました。また、血圧測定器など普段見慣れている器具を実際に体験し、赤ちゃんの人形を抱っこしていただきました。



理学療法士体験ブース

車いすや義足などを展示して、実際に触れていただきながら、理学療法士の仕事や大学に入ってから授業などについて説明を行いました。



作業療法士体験ブース

手の巧緻性(手先の器用さ)と注意集中力の検査を、タッチパネルを用いて体験していただきました。また、個別相談も行われ、作業療法について詳しく説明を行いました。



薬剤師体験ブース

粒状のチョコレート菓を薬の錠剤に見立て、自動で分包する機械の操作体験や、ペースト状になった薬の重さを量り、それぞれ混ぜ合わせて軟膏を作り、容器に詰める軟膏作り体験をしていただきました。



キャンパスライフ展示コーナー



薬学相談コーナー



入試相談コーナー



その他にも、本学の特徴的な取り組みであるチーム医療を映像化したDVD上映コーナーやキャンパスライフ展示コーナー、薬学相談コーナー、入試相談コーナーなどを設け、兵庫医療大学についての理解も深めていただきました。

医療関係に興味のある高校生を中心に、小さなお子さんや家族連れの方にも参加いただき、「今までよくわからなかった医療職種の話をいろいろ質問することができて大変参考になりました。」「血圧を測ったり、心臓の動く様子を見たり、リアルな体験ができてとても楽しかったです。」などの感想が寄せられました。

ステージ、ライブイベント

芝生広場の特設ステージでは、大学行事実行委員会の企画による各種コンテストや各種ライブイベントが行われ、ステージ上の出演者も、観客席の皆さんも、大いに盛り上がりつていました。これらの学内コンテスト投票はすべて10円玉で行い、集まったお金は赤い羽根募金に寄付させていただきました。



ご来場ありがとうございました!



学祭 photo album



開会



理事長・学長による、開会に際してのご挨拶。

開会宣言



実行委員長の開会宣言で海泉祭スタート!

優秀賞



今年はバスケット部・軽音部などが課外活動優秀賞を受賞し、表彰されました。

歌うまコンテスト



熱戦が繰り広げられたコンテスト。出場者全員による歌とダンスは大いに盛り上がりしました。

リサイクルマーケット



2日目に行われ、出店者である地域住民の方との交流を楽しみました。

入試相談



高校生の来場者を対象とした入試相談も好評でした。

移動動物園



子どもから大人まで、可愛い動物の魅力に思わず笑みがこぼれます。

第2回 ホームカミングデイ開催

卒業生を対象とした第2回ホームカミングデイを平成24年10月6日、海祭(大学祭)の1日目に開催しました。

第1部は学部別企画として、看護学部とリハビリテーション学部に分かれて座談会形式で意見交換が行われました。

■看護学部

座談会：「共に語ろう“看護”を」

講師：兵庫医療大学 看護学部
竹田千佐子 学部長

■リハビリテーション学部

座談会：「臨床研究は面白い！～大学院へのお誘い～」
(大学院生からの経験談を交えて)

講師：兵庫医療大学
リハビリテーション学部理学療法学科
野崎園子 教授



第2部は、看護学部、リハビリテーション学部それぞれの催しの後、両学部合同での懇親会が開催されました。学長や両学部長はじめ、多くの教職員も出席し、卒業生と近況を報告し合うなど、久しぶりの再会を楽しんでいる様子でした。卒業生同志も、懐かしい顔ぶれに自然と会話が弾んでいました。今年でまだ2回目のホームカミングデイですが、この会を重ねていくことで、毎年多くの卒業生が母校に帰ってきていただけることを期待しています。



仕事研究セミナー

10/29

第19回 甲子園球児から理学療法士へ ～学生時代の夢・現在の活動について～

M棟203講義室において、全学部全学年の学生を対象とした「仕事研究セミナー」が開催されました。「甲子園球児から理学療法士へ～学生時代の夢・現在の活動について」というテーマで、医療法人行岡医学研究会行岡病院リハビリテーション部理学療法科の福田明雄氏を講師にお招きし、スポーツリハビリテーションの分野で働くようになったきっかけや、理学療法の視点から見た甲子園球児ならではの体験談をお話いただきました。

セミナー中には、積極的に質問する学生も見受けられ、将来を考えるうえで学生にとってはとても参考になった様子でした。



11/15

第20回 私の仕事 ～がん看護CNSの概要について～

M棟106講義室において、全学部全学年の学生を対象とした「仕事研究セミナー」が開催されました。「私の仕事～がん看護CNSの概要について～」というテーマで、市立岸和田市民病院看護部がん看護CNS高見陽子氏を講師にお招きし、苦痛(心身の)緩和や治療・ケアの方向性の検討、患者さん・ご家族の意思決定支援などのがん専門看護師の仕事について、具体的な事例を元にお話いただきました。

講義終了後も、参加した学生たちに笑顔で話しかけられ、専門看護師はチーム医療に取り組んでいることや患者さんの“本音”を理解する努力を学生時代にして欲しいなどのアドバイスもいただきました。



スポーツ大会開催



平成24年11月27日と12月3日、体育館にてスポーツ大会が行われ、同学年または同学部で10人ずつ1チームとなり競い合いました。

スポーツ大会は大学行事実行委員会主催で『それぞれチームを組み協力し合い、結束を深めてもらう』ことを目的として開催されており、今年で4回目になります。

2日間の日程で行われ、「ドッジボール」、「大縄跳び」、「ムカデ競争」、「フリースロー」の4競技で競いました。ムカデ競争では、何回か転んだりしながらもチームみんなで息をそろえて体育館を往復し、ドッジボールでは円陣を組んで協力しました。

12月7日(金)にはクリスマスイルミネーションの点灯式が開催され、学長と学生会総代のあいさつの後、スポーツ大会の結果発表が行われました。今年度の1位は作業療法学科3年生チーム、2位は理学療法学科2年生チームでした。

「3・2・1」の合図とともにイルミネーションが点灯され、キラキラと輝くクリスマスツリーの下、サンタクロースの衣装を着た大学行事実行委員の学生がお菓子を配り、一足早いクリスマスを楽しみました。



第2回神戸マラソン開催

平成24年11月25日に第2回神戸マラソンが開催されました。

前日の雨模様から一転、晴天に恵まれ、約2万人のランナーが神戸の街を駆け抜けました。

“感謝と友情”をテーマに、“ボランティア・マインド”と“ホスピタリティ・マインド”をコンセプトとして開催された今大会に、兵庫医療大学からは昨年に引き続き、教員と在学生がボランティアスタッフとして多数参加しました。

大会中は大きな声でランナーに声援を送り、第2回神戸マラソンを盛り上げました。



ゴール地点のワールド記念ホールでは、教員・学生合わせて70名がボランティアとして、走り終えたランナー一人ひとりに笑顔で声を掛けながら、手荷物の返却を行いました。

神戸大橋の救護スペースでは、教員・学生合わせて12名が救護スタッフとして、ランナーの救護サポートを行いました。

マラソン前々日のランナー受付・参加賞等の配布に6名、障がい者サポートスタッフに2名の学生がボランティアに従事しました。

ゴール地点付近では、大学のJAZZバンド部が、ポートアイランド内にある大学の吹奏楽部や地元の港島中学校の吹奏楽部等と、この大会のために合同練習をした曲を演奏し、ランナーの皆さんの健闘を称えました。

学生会執行部からは、走路員として6名の学生が活躍し、また大きな声でランナーに声援を送りました。



大学病院のトップブランドを目指して

兵庫医科大学病院 病院長 | 太城 力良

新年あけましておめでとうございます。

昨年12月には急性医療総合センターが竣工し、本年4月には運用を開始します。この建物内の手術センターにはハイブリッド手術室ができロボット手術装置(ダヴィンチ)も導入されています。救命救急センターのEICU・CCU、集中治療センターICU・HCU、周産期センターのNICU・GCUは増床され機器や設備も一新されます。血管内手術を行うIVRセンターは救命救急センターと近接し迅速な対応が可能になります。病院全体の新しい電子カルテの導入やPACS更新も2月に予定しています。

これに伴い病棟編成の変更だけでなく各種事務手続きの運用も変化します。また、移転後跡地の転用、新教育研究棟の基本設計の確定など将来の西宮キャンパスの中長期事業計画に基づくグランドデザインを見据えた改革・改善も必要になります。これらを実現していくための経営基盤の確保には病院が大きな役割を担っています。まずは、急性医療総合センターの運用を順調に立ち上げ、安全安心な医療、質の高い医療、高度先進医療の開発と実践を確実に進めていく必要があります。このためには、豊富な知識と柔軟な思考、確実で迅速な行動、そして思いやりとやりがいに基づく情熱が各人に求められます。

本年は巳年、ヘビは知識の象徴です。ギリシア神話に登場する名医アスクレーピオスが持つヘビが巻き付いた杖は医療・医術のシンボルマークです(日本医師会のマークはヘビのみ使用)。ここ武庫川の地に、アスクレーピオスの杖の先をしっかりと確実に埋め込み、杖が根付いて大樹となるように全教職員が力を合わせましょう。そして、学校法人兵庫医科大学が医系大学のトップブランドと誰もが認める日を早く迎えたいと思っています。



◀アスクレーピオスの杖

▼世界医師会のロゴマーク



小児患者さん対象のイベントを開催

平成24年10月25日と29日に小児の患者さんを対象としたイベントが開催されました。10月25日には、日本マクドナルドからドナルドがやってきました。ドナルドの登場と同時に子供たちの歓声が上がり、バルーンアートや患者さんも参加してのジェスチャーゲームなど、ドナルドと一緒に楽しい時間を過ごしました。イベントの後には、会場に来られなかった小児患者さんの病室をドナルドが訪問し、一緒に記念撮影を行いました。

10月29日には、NPO法人兵庫県子ども文化振興協会主催で、日本で唯一の絵本パフォーマー・岸田典大さんによる絵本パフォーマンスが行われました。絵本パフォーマンスとは、オリジナルの音楽にあわせて絵本を読み聞かせるというもので、子供たちは音楽に合わせて手を叩いたり、掛け声をかけたり、普段の読み聞かせとは異なる絵本の世界を楽しみました。



兵庫医大フロンティア医療セミナー

第3回(平成24年10月15日開催)

放射線診療のトピックス

コーディネータ
放射線科 診療部長 廣田省三

- 1.「多列CTの実力は？」
画像診断部 部長 石蔵礼一
- 2.「MRI.3.0T(テスラ)で何がわかるか。」
放射線科 講師 安藤久美子
- 3.「IVR治療の進歩」
放射線科 助教 山本聡
- 4.「放射線治療の話題：強度変調放射線治療(IMRT)とは」
放射線科 助教 富士原将之

第4回(平成24年11月20日開催)

特定機能病院における医療社会福祉

コーディネータ
医療社会福祉部 副部長 鳥巢佳子

- 1.「わが国における医療社会福祉の現状と今後の展望
ー特定機能病院における医療社会福祉の課題ー」
関西福祉科学大学
社会福祉学部社会福祉学科 教授 安井理夫 先生
- 2.「医療社会福祉部の活動状況」
「チーム医療におけるソーシャルワーカーの取り組み」
医療社会福祉部 副部長 鳥巢佳子
医療社会福祉部 スタッフ

クリスマス音楽会を開催しました



平成24年12月15日、1号館1階ロビーにてクリスマス音楽会が開催されました。この催しは、患者サービス向上委員会が主催し、患者さんやご家族の皆様に楽しいひと時を過ごしていただきたいという思いから、今年度初めて開催しました。

「amadeus」の皆さんによるバイオリン、エレクトーンの演奏に合わせ美しい歌声がロビーに響き渡り、入院・外来患者さんやそのご家族、関係者など多くの方が楽しいひと時を過ごしました。クリスマスにちなんだおなじみの曲では、観客の皆さんも参加し、楽しげな歌声が聞こえてきました。

また、スペシャルゲストとして、耳鼻咽喉科の都築建三講師がサンタの衣装で登場し、マンドリンやエレクトーンの弾き語りで会場を魅了しました。



急性医療総合センター

急性医療総合センターは、平成25年4月開設に向け、着々と準備が進められています。





2013年(平成25年)癸巳 年頭の挨拶

ささやま医療センター病院長・ささやま老人保健施設長 | 福田 能啓

新年明けましておめでとうございます。兵庫医科大学開学40周年記念式典が終了し、新たな気持ちで41年目に突入します。平成25年は「へび年」で、干支では「癸(みずのと)」、十二支では「巳(み)」です。「巳」とは「へび」のことで、包むという字に通じており「母親が子供をお腹の中で包むようにして育てている状態」を表している漢字です。開学41年目として、新しい息吹が生まれ、更なる発展への礎が築かれる年になると期待されます。

「へび」は脱皮し新しく生まれ変わることから「不滅の命」として神様のように敬われていたようです。ギリシャの「医神アスクレーピオス」は、優れた医術の技で死者すら蘇らせ、後に神の座についたとされることから、医神として現在も医学の象徴的存在となっています。蛇が絡み付いた杖を持っており、健康・不老・長寿・不死などを象徴しているとされています。その図柄が医療の原点ともなり、医師会、救急車、WHOの旗などのシンボルマークに用いられています。篠山市は、「医神アスクレーピオス」ゆかりの町エピダウロ市と姉妹都市になっています。ささやま医療センターは、医療に関係する町にあり、地域医療を継続しなければならないところにあると言えます。本年は、地域医療に情熱のあるスタッフによって、さらなる充実を図りたいと考えています。

学長の掲げる「オンリーワン大学」の達成条件に「地域医療の推進」も含まれていると思います。巳年は新しい誕生を意味する年でもあり、新たに「地域医療元年」と認識し、蛇のような我慢強さで進んでゆきたいと思います。しかし、あまりゆっくりすぎれば地域の患者さんはもう待ってられないかも知れません。「Festina lente フェスティナ・レンテ(ゆっくり急げ)」！

どうか、ご支援の程、よろしくお願いいたします。

厚生労働大臣表彰(臓器移植対策推進功労者)



地域救急医療学 特任教授 吉永 和正

平成24年10月13日に高知市文化プラザ「かるぼーと」で開催された第14回臓器移植推進国民大会において臓器移植対策推進功労者として厚生労働大臣の感謝状を受け取ってきました。

私が脳死・臓器提供に関わりを持つようになったのは昭和59年からです。昭和55年から兵庫医科大学病院救命救急センターの専任医師として勤務していましたが、多数の脳死症例を経験する中で、泌尿器科から「腎臓移植を始めるがドナーとなる患者さんはいないか」という打診を受けました。脳死状態となった患者さんの家族に心停止後の

臓器提供の話をしてみると、希望する家族が存在することが分かりました。ドナーとなりうるすべての患者さんの家族に確認をしていくと、何例かに1例はドナーとなることを希望していることから、説明を続けてきました。

可能性のあるすべての患者さんの家族に意思確認をするということを救急現場に根付かせたことが今回の表彰につながったと考えています。全国的には意思確認はまだまだ不十分です。すべての救急医療現場が確実に意思確認ができるようにすることが、私に課された課題であると、思いを新たにしています。



ささやま老人保健施設運動会を開催しました

スポーツの秋、ささやま老人保健施設においてフロアごとに運動会を開催しました。

通所の利用者さんの運動会を、10月22日(月)から26日(金)の4日間開催しました。新聞紙の綱引きや新聞紙を丸めた玉入れなど、車椅子の方々にも参加していただける種目を盛りだくさん企画しました。

また、10月24日及び31日には、入所の利用者さんの運動会を開催し、紅白2組に分かれて、チーム一丸となり競技を行いました。中でも玉送りリレーは一番の盛り上がりを見せました。皆さんの頭につけているハチマキのおかげでしょうか、車椅子を並べて真剣な眼差しで玉送りしている姿は、皆さんとても凛々しく見えました。

教職員による準備や工夫のおかげで、笑顔で充実した運動会を開催することができました。



篠山市長による長寿者表彰について

9月14日、ささやま老人保健施設に酒井 隆明篠山市長が来所され、同市長より103歳の入所者の女性が表彰状と記念品を授与されました。この方は篠山市では3番目の長寿の方です。

昨年、102歳で表彰されたことをよく覚えておられ、今年も表彰されるとは思っていなかったと喜んでおられました。

ささやま老人保健施設には、他にも101歳の方が2名、白寿が1名、卒寿が5名、米寿が4名おられ、この方々には、当施設よりメダルと表彰状をお渡ししました。

現在、入所者の平均年齢は86歳です。日本の女性の平均年齢86歳(平成21年厚生労働省)と同じ平均年齢です。通所リハビリテーションを利用し、ご自宅で生活されている方の中には、90歳を超える方が27名もいらっしゃいます。

皆さんが元気で長寿でいられるためにも、当施設を利用していただき、たくさんの表彰者を出していきたいと教職員一同考えております。

院内保育所園児によるハロウィンイベントを開催しました

平成24年10月31日にささやま老人保健施設において、ささやま医療センター院内保育所の園児を招いてハロウィンイベントを開催しました。可愛い帽子やマントで仮装をした園児たちが保育所からハロウィンパレードをしながらやって来てくれました。最初は少し緊張気味の表情だった園児たちも、利用者の方々がにこやかな笑顔でとても優しく接して下さり、楽しいパーティーだとわかったと、安心してお菓子をもらって嬉しそうにしていました。

院内保育所は平成23年8月に開設以来、現在11名の園児が在籍しています。今後も元気に成長する園児達と楽しく交流できる機会をたくさん作っていききたいと思います。



学校法人兵庫医科大学中医薬孔子学院 開設

医学・医療の変容と時代が求めるニーズに応えるため、近代西洋医学をベースとした医療のみならず、伝統医学も取り入れた全人的医療を本学の特色の1つとして、兵庫医科大学、兵庫医療大学及び北京中医薬大学の日中3大学間連携により、日本における最初の中医学教育・研究機関「学校法人兵庫医科大学中医薬孔子学院」を平成24年11月9日に設立しました。



総合研修棟前にて除幕式実施。写真は孔子学院の幹部。左から順に戴副院長、鄔副院長、中西理事、新家理事長、東学院長、坂元理事、山口事務局長



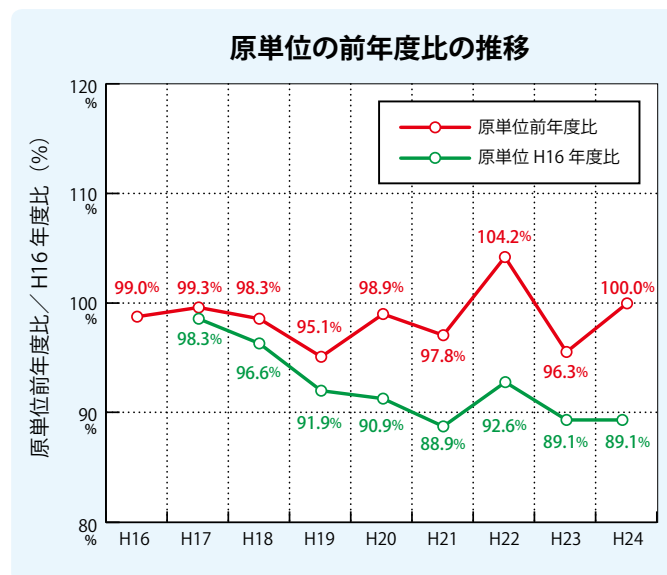
北京中医薬大学より鄔継紅(う・じほん)教授を副院長としてお迎えし、西宮キャンパス総合研修棟の6階に事務室、学院長・副院長室等を設け、兵庫医療大学にはG棟1階先端医薬センター内に研究部門を、P棟2階地域連携実践センター内に社会貢献部門を設置しました。

省エネルギー対策 夏季の結果と冬季目標

西宮キャンパスでは皆様のご協力の下、この夏も積極的に省エネルギー活動および経費削減活動に取り組んで参りました。その結果として今年度(9月迄)のエネルギー原単位(※)は、一昨年度に比べ3.7%の削減を達成することができました。昨年度からは0%削減ですが、夏が猛暑であったことを考慮すれば、省エネが図られたと思います。省エネ推進委員会発足前の平成16年度と比べると、10.9%のエネルギー削減となっています。

冬季も引き続き、省エネルギー活動および経費削減活動を行って参りますので、より一層のご協力をお願いします。

※エネルギー原単位…延床面積あたりのエネルギー消費量



平成24年度 主な省エネルギー活動

- 副院長による医局ラウンドの実施
- 医局研究室の不在時消灯・空調OFFの徹底
- 各棟の照明減灯・大便器ウォッシュレットの低温設定
- スーパークールビズ・ウォームビズの導入

ウォームビズにご協力をお願いします！

- 診療現場以外での暖房の室温設定は19℃とし、節電に努める。
- 暖房機器に頼らず、働きやすく暖かい服装を着用する。(ただし、患者さんと直接接する部署は、失礼のないように配慮をお願いします。)

開学40周年記念式典事前マナー研修会を実施

平成24年11月22日開催の開学40周年記念式典に先立ち、事務局では平成24年10月24日、事前マナー研修会を実施しました。

記念式典を開催したリーガロイヤルホテル(大阪)で接遇講師を担当されている吉田富貴子氏をお招きし、記念式典運営スタッフの事務職員をはじめ、入職1～3年目の事務職員など約60名が参加し、動作の基本や受付業務のポイントを教えていただきました。

前半は、姿勢や言葉遣いといった普段の業務でも重要である動作の基本の説明がありました。後半には、式典当日をイメージした受付や案内の方法の具体的な説明があり、参加者も2人1組となりロールプレイングを実践。一連の動作、流れの把握から、細やかな所作まで実際に体験することで理解を深めました。

参加した職員からは、今回学んだことを記念式典に限らず、今後の業務の中でも生かすことができるよう取り組んでいきたいとの声があがっていました。



管理・監督者のためのメンタルヘルス研修 部下の心を守り、自分の心も守るために

平成24年11月5日及び12日(同一内容)の2日間、安全衛生委員会主催の管理・監督職のためのメンタルヘルス研修を開催しました。演者は職員相談室の原田相談員。両日合わせて194名の参加がありました。

講演は、厚生労働省の「心の健康の保持増進のための指針」に基づき、日頃管理・監督職が、どのような点に配慮しラインのケアを行っていけばよいのかを体系的に解説していただきました。メンタルヘルスとは何か、メンタルヘルスが悪化している労働者を取りまく現状、国のメンタルヘルスの指針の理解、どのようにメンタルヘルス対策を進めていけばよいのかについて詳しく説明されました。またストレスへの理解を深めることや管理・監督職の役割、具体的なラインのケアの取り組み、さらに個人情報保護への配慮と管理・監督職自身のセルフケアにつ

いても重要であるとの説明がありました。メンタルヘルス対策については、基本に忠実にそして柔軟に行うことが必要とされ、それにはまず、メンタルヘルスについての知識を深め、理解していくことから始まること、また、管理・監督職自身も困った時には積極的に職員相談室を活用してほしいと締めくくられました。

研修終了後の受講者へのアンケート結果では、研修会は有益であったとの回答が多数寄せられました。次回は一般職のメンタルヘルス研修を開催する予定です。



兵庫医科大学開学 4 0 周年記念事業募金 状況報告

「兵庫医科大学開学 4 0 周年記念事業」のための募金活動を平成 2 4 年 7 月に開始し、教職員・名誉教授、退職者の方々をはじめ、後援会（保護者）、同窓会緑樹会、企業等法人・関連病院は言うに及ばず幅広い方々から、温かいご寄付を賜り、誠に有り難く、厚く御礼申し上げます。

本学法人といたしましては、ご協力賜りました方々のご芳名を広報誌に掲載させていただき、改めて感謝の意を表したいと存じます。

皆様からご寄付いただきました寄付金については、兵庫医科大学の教育研究施設等充実のために利用させていただきます。

本学は、これからも全力で大学の合理化推進等により、必要資金確保に向けての自主的努力を重ねてまいります。関係の皆様におかれても更なるご支援、お力添えを賜りますよう、よろしくお願いいたします。

（募金推進室） H24.7.1～24.11.30						
区 分	受配者指定寄付金		特定公益増進法人		合 計	
	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額
申 込	73件	413,230,000円	248件	212,480,000円	321件	625,710,000円
入 金	54件	370,250,000円	203件	76,318,234円	257件	446,568,234円

寄付申込者ご芳名・法人名一覧						
（企業等法人）（43社）						
（企業名・金額記載 6社）						
30,000,000円	兵庫医科大学	後援会様	100,000円	株式会社イー ジス様		
10,000,000円	燦ホールディングス株式会社様		100,000円	日本電検株式会社様		
1,000,000円	株式会社	光洋様	100,000円	成栄株式会社様		

（ご芳名のみ記載 33社）						
株式会社阪急阪神ホテルズ様	有限会社 グリルグラン様	三井住友海上火災保険株式会社様				
株式会社日経サー ビス様	株式会社伊藤園様	武庫川医療サー ビス株式会社様				
エヌエイチパーキングシステムズ株式会社様	株式会社 損害保険ジャパン様	株式会社アクセライズ様	アサヒブリテック株式会社様			
株式会社ポッ ポヤ様	日信防災株式会社様	兵田印刷工芸株式会社様	成光株式会社様			
ユウキ産業株式会社様	ホーチキ株式会社 神戸支社様	日本管財株式会社様	阪神消毒サー ビス様			
株式会社 青香園様	株式会社フロンティア様	くるみ薬局 武庫川店様	株式会社 西薬局様			
大紘設備株式会社様	島設備工業株式会社様	大成温調株式会社様	株式会社 アマミ 建築工業様			
戸田建設株式会社大阪支店様	株式会社日本設計様	株式会社 オーエンス様	住友電設株式会社様			
田中工業株式会社様	浅海電気株式会社様	株式会社 兵庫蓄電池様	（匿名 4社）			

〔同窓会緑樹会〕（10名）						
（ご芳名・金額記載 5名）						
4,000,000円 大江 与喜子様						
1,000,000円 上田 直光様						
100,000円 澤田 康史様						
30,000円 西脇 学様						
10,000円 小林 秀彦様						
（ご芳名のみ記載 3名）						
黒田 佳治様						
大畑 裕之様						
木村 一郎様 （匿名 2名）						

〔同窓会緑樹会〕（10名）						
（ご芳名・金額記載 5法人）						
1,000,000円	特定医療法人 中央会様					
1,000,000円	医療法人社団淡路平成会 東浦平成病院様					
500,000円	医療法人浩生会 舞子台病院様					
500,000円	社会医療法人生長会 府中病院様					
100,000円	一般社団法人 宝塚市歯科医師会様					

（ご芳名のみ記載 16法人）						
医療法人 協和会様	株式会社互恵会 大阪回生病院様	医療法人出田会出田眼科病院様				
医療法人ラポール会様	医療法人美翔会様	医療法人社団 直太会様				
医療法人 敬愛会様	医療法人 喜望会様	医療法人タイワ会 大和中央病院様				
医療法人社団平生会 宮本クリニック様	医療法人健人会那須クリニック様	たつの市民病院様				
医療法人社団 正仁会様		医療法人誉会 勝呂クリニック様				
根宜小児科婦人科クリニック様		三菱神戸病院様				

〔名誉教授〕（4名）			〔その他個人〕（1名）			〔退職者〕（1名）		
（ご芳名・金額記載 3名）			（ご芳名のみ記載 1名）			（ご芳名・金額記載 1名）		
300,000円	下奥 仁様	（ご芳名のみ記載 1名）	福井 明子様			1,000,000円	角田 英夫様	
100,000円	吉岡 濟様	塚本 吉彦様						
100,000円	相模 成一郎様							

〔教職員〕（55名）					
（ご芳名・金額記載 17名）					
1,000,000円	森田 泰夫様	500,000円	西口 修平様	250,000円	山口 勲様
700,000円	馬場 明道様	500,000円	藤岡 宏幸様	250,000円	藤原 範子様
500,000円	佐野 統様	500,000円	藤元 治朗様	100,000円	小川 孝博様
500,000円	三好 康雄様	500,000円	芳川 浩男様	100,000円	野上 あゆみ様
500,000円	森脇 優司様				
（ご芳名のみ記載 32名）					
野口 光一様	元岡 城作様	佐竹 真様	戊角 幸治様	奥本 正和様	池本 純子様
細見 明代様	紀平 知樹様	阪永 諭様	加藤 慎司様	吉高 徹様	中村 光子様
川口 浩太郎様	富田 尚裕様	長澤 康行様	吉原 大作様	安藤 由賀様	長濱 孝子様
辻村 亨様	野島 道生様	入江 猛様	江口 裕伸様	後藤 直美様	天野 恵様
野坂 和人様	楊 鴻生様	入佐 賢一様	畑中 緑子様	森田 真由美様	藤田 典子様

学校法人兵庫医科大学基金 状況報告

本学校法人は、平成 2 1 年 4 月 1 日に学校法人兵庫医科大学基金を創設し、継続的な募金活動を開始するとともに、基金の活動を支援する組織として学校法人兵庫医科大学兵医・萌えの会を設け、その会員の皆様から会費を寄付金のかたちで募り、基金の運営に寄与することとしております。

寄付活動を開始して以来、患者様をはじめ、後援会会員、同窓会緑樹会会員、名誉教授、退職者、教職員等は言うに及ばず、協力医療機関や関連企業等の幅広い方々から、温かいお申し込みを賜り、厚く御礼申し上げます。

皆様方からご寄付いただきました貴重な浄財は、教育・研究環境の整備や学生への奨学金等の支援を通じて、社会への貢献・還元のために使用させていただきます。

今後とも引き続きご協力賜りますよう、よろしくお願いいたします。

（募金推進室） H21.1.1～24.11.30						
区 分	受配者指定寄付金		特定公益増進法人		合 計	
	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額
申 込	210件	40,055,000円	399件	26,267,498円	609件	66,322,498円
入 金	205件	38,155,000円	394件	26,062,498円	599件	64,217,498円

寄付申込者ご芳名・法人名一覧						
（ご芳名のみ記載 8社）						
500,000円	株式会社 オーエンス様					田中工業株式会社様
500,000円	株式会社 エイチ・アイ様					株式会社 共英メソナ様
300,000円	小山株式会社様					永岡玲子税理士事務所様
100,000円	有限会社エイチ・アイ・サー ビス様					株式会社 アクセライズ様

〔同窓会緑樹会〕（5名）						
（ご芳名・金額記載 2名）						
100,000円	長澤 進様	50,000円	阿河 真一様			
			（匿名 3名）			

〔その他個人〕（43名）						
（ご芳名・金額記載 7名）						
50,000円	大西 誠様	50,000円	飯田 美奈子様			
50,000円	河本 公夫様	50,000円	金城 泰二様			
50,000円	古川 真佐子様	50,000円	森下 世志典様			
50,000円	角井 義夫様					

〔教職員〕（3名）						
（ご芳名・金額記載 1名）						
10,000円	長谷川 誠実様					

（ご芳名のみ記載 15名）						
勝木 キミ子様	湯浅 知子様	永岡 玲子様				
坂本 恵美子様	九鬼 隆明様	興津 旬晃様				
四塚 久雄様	橘 ツヤ子様	橘 精一郎様				
住谷 育様	熊本 茂美様	東 一光様				
土井 進様	高橋 圭治様	島崎 勝一様				
		（匿名 21名）				

広報誌 読者アンケートにご協力ください！

平素より広報誌発行にご理解・ご支援くださりありがとうございます。皆
さんにより親しんでいただける広報誌を目指し、読者アンケートを実施いた
します。ぜひアンケート回答にご協力ください。

アンケート詳細は、教職員の皆さんはグループウェアのインフォメーショ
ンを、その他の方は同封のご案内をご参照ください。



報道機関等への出演・掲載

本学の取り組みや医療関連業務、医師等に対する取材、報道機関への出演・掲載情報をお知らせします。

本学ホームページにも最新情報を掲載しています！

兵庫医大 広報 テレビ放送

検索

兵庫医大 広報 新聞掲載

検索

テレビ・ラジオ放送情報一覧 <http://www.corp.hyo-med.ac.jp/guide/public/tvinfo.html>
新聞等掲載記事一覧 <http://www.corp.hyo-med.ac.jp/guide/public/newspaper.html>



テレビ・ラジオ出演情報 10月から11月

放送局	番組	放映日	関係者	概要
NHK教育テレビ	「きょうの健康」	10月1日～4日	眼科 三村 治 主任教授	下記のテーマで解説。 ・「緑内障」(10/1) ・「加齢黄斑変性」(10/2) ・「角膜炎」(10/3) ・「まぶたの病気(眼瞼けいれん)」(10/4)
毎日放送	「ちちんぷいぷい」	10月19日	小児科 服部 益治 教授	「大流行！RSウイルス感染症」をテーマに生放送のスタジオで解説。
NHK総合テレビ	「ためしてガッテン」	10月24日	眼科 三村 治 主任教授	「5日でメガネいらずに!? 新・視力回復法の正体」をテーマに解説。
関西テレビ	「めざましテレビ」	10月25日	小児科 服部 益治 教授	「ワクチンの重要性和副作用」のテーマでコメント出演。
NHK教育テレビ	「TVシンポジウム▽がんサバイバーの時代～がんと共に・がんを乗り越えいかに生きるか」	11月19日	上部消化管外科 笹子 三津留 主任教授	10月27日に横浜で行われた市民健康講座にてパネリストとして出演され、その講演の様子が放送された。
毎日放送	「VOICE」	11月23日	泌尿器科 山本 新吾 主任教授	医療支援ロボット「ダヴィンチ」の特集コーナーにて、兵庫医科大学病院に導入したダヴィンチが紹介され、説明の様子が放映された。
テレビ東京	「NEWSアンサー」	11月27日	小児科 服部 益治 教授	冬の脱水症状の危険性について解説。
NHK総合テレビ	ニュース	11月27日	小児科 服部 益治 教授	服部教授が委員長を務める「かくれ脱水委員会」がホームページ等を通じ、冬の脱水に注意を呼びかける活動を行っていることが紹介された。
毎日放送	「VOICE」	11月28日	小児科 服部 益治 教授	「天気とインフルエンザ」のテーマでコメント出演。
毎日放送	「ちちんぷいぷい」	11月30日	小児科 服部 益治 教授	「この季節、注意が必要な健康問題」をテーマに生放送のスタジオで解説。



新聞・雑誌等 掲載情報 10月から11月

掲載媒体	掲載日	関係者	概要
読売新聞(朝刊)	10月5日	兵庫医科大学 千代 豪昭 特別招聘教授	新型出生前診断をテーマにその課題や導入についての意見が掲載された。
読売新聞(朝刊)	10月7日	兵庫医科大学病院 眼科	「病院の実力」において、兵庫医科大学病院の「眼科」についての実績データ(2011年)が掲載された。

掲載媒体	掲載日	関係者	概要
読売新聞(朝刊)	10月11日	寄付講座 腫瘍免疫制御学 岡村 春樹 特任教授 兵庫医科大学学長／ 免疫学・医動物学講座 中西 憲司 主任教授	第55回野口英世記念医学賞を受賞し、研究業績や受賞にあたってのコメントなどが掲載された。
朝日新聞(朝刊)			
神戸新聞(朝刊)			
産経新聞(朝刊)			
リビング阪神中央版(産経新聞折込)	10月20日	神経・脳卒中科 芳川 浩男 主任教授	認知症への向き合い方などについて解説した記事が掲載された。
読売新聞(朝刊)	10月21日	リハビリテーション部 道免 和久 主任教授	「記者から」のコーナーにて、9月に同教授を紹介した記事で取り上げられた患者さんの体験談にて、兵庫医科大学病院での事例などが掲載された。
奥様メモ・カレンダー(毎日新聞折込)	10月26日	眼科 三村 治 主任教授	「保存版 健康質問箱」のコーナーにて三村主任教授が監修した「アレルギー性結膜炎」の記事が掲載された。
神戸新聞(朝刊)	11月3日	呼吸器・RCU科 平山 倫子 助教 兵庫医療大学 東 純一 薬学部長	「ひょうごの医療」コーナーにおいて、呼吸器・RCU科で治療を受けた患者さんの事例が掲載され、その治療についてや、主治医・平山 倫子助教のコメントなどが掲載された。また、東薬学部長らが進めている、ニコチン依存症のなりやすさや薬の効きやすさなどの遺伝的な要因との関連性についての研究内容が、コメントと共に紹介された。
読売新聞(朝刊)	11月4日	兵庫医科大学病院	「病院の実力」において、兵庫医科大学病院の「抗がん剤治療の体制と実績」についてのデータ(2011年)が掲載された。
神戸新聞(朝刊)	11月5日	上部消化管外科 笹子 三津留 主任教授	横浜市内で10月末に開かれた日本癌治療学会の紹介記事にて、同学会会長として笹子主任教授のコメントなどが紹介された。
読売新聞(朝刊)	11月6日	解剖学(神経科学部門) 野口 光一 主任教授	文化、科学、スポーツ、社会の4分野で優れた功績を収めた個人や団体を表彰する兵庫県4賞の受賞式(11月5日実施)の記事で、科学賞の受賞者として野口主任教授の名前が掲載された。
毎日新聞(朝刊)	11月6日	兵庫医療大学 リハビリテーション部 野崎 園子 教授	「キャンパス通信ボーアイ4大学連携講座」コーナーにおいて、野崎教授が「摂食嚥下障害の研究」をテーマに、嚥下障害の方に対する治療や取り組みなどについて寄稿した内容が掲載された。
愛媛新聞	11月9日	寄付講座 腫瘍免疫制御学 岡村 春樹 特任教授 兵庫医科大学学長／ 免疫学・医動物学講座 中西 憲司 主任教授	愛媛県東温市出身である岡村特任教授が、中西 憲司学長と共同で第55回野口英世記念医学賞を受賞したことが研究内容や受賞にあたってのコメントとあわせて紹介された。
読売新聞(朝刊)	11月11日	がんセンター 薬剤師 藤澤浩美さん	「カルテの余白に」のコーナーにて、がん専門薬剤師としての仕事やこれまでの体験などを語る連載の前編が掲載された。
福島民報	11月11日	寄付講座 腫瘍免疫制御学 岡村 春樹 特任教授 兵庫医科大学学長／ 免疫学・医動物学講座 中西 憲司 主任教授	岡村教授と中西学長が受賞した第55回野口英世記念医学賞の授賞式が10日猪苗代で行なわれ、その様子のほか両教授のコメントなどが紹介された。
福島民友			
産経新聞(夕刊)	11月13日	糖尿病科 難波 光義 主任教授	9月22日に大阪府豊中市にて開催された市民公開講座にて、難波主任教授が「糖尿病治療の新たな挑戦」のテーマで講演した内容が掲載された。
読売新聞(朝刊)	11月18日	がんセンター 薬剤師 藤澤 浩美 さん	「カルテの余白に」のコーナーにて、がん専門薬剤師としての仕事やこれまでの体験などを語る連載の中編が掲載された。
デイリースポーツ	11月19日	兵庫医科大学	兵庫医科大学醫聖祭の医学講演会(11月18日開催)にて、阪神タイガースの岩田稔投手が講演した様子が掲載された。
日刊スポーツ			
スポーツニッポン			
サンケイスポーツ			
スポーツ報知			
毎日新聞(朝刊)	11月20日	兵庫医療大学 リハビリテーション学部 玉木 彰 教授	「キャンパス通信ボーアイ4大学連携講座」コーナーにおいて、玉木教授が「COPDと診断されたら」と題し、慢性閉塞性肺疾患(COPD)の症状や呼吸リハビリテーションについて寄稿した内容が掲載された。
読売新聞(朝刊)	11月25日	がんセンター 薬剤師 藤澤浩美 さん	「カルテの余白に」のコーナーにて、がん専門薬剤師としての仕事やこれまでの体験などを語る連載の後編が掲載された。
奥様メモ・カレンダー(毎日新聞折込)	11月26日	リウマチ・膠原病科 松井 聖 准教授	「保存版 健康質問箱」のコーナーにて、松井准教授監修の「食物アレルギー」と題した記事が掲載された。
朝日新聞(夕刊)	11月26日	整形外科 田中 寿一 教授	「体とこころの通信簿」のコーナーにて、「テニス肘」の治療法についてコメントした記事が掲載された。
毎日新聞(朝刊)	11月27日	兵庫医療大学 リハビリテーション学部 川口 浩太郎 教授	「キャンパス通信ボーアイ4大学連携講座」コーナーにおいて、「スポーツ理学療法」と題し、スポーツの現場で活躍する理学療法士について寄稿した内容が掲載された。

教職員の皆さんへ

広報課では法人全体の報道機関などへの出演・掲載を把握し、ホームページや広報誌を通して皆様にご案内させていただいております。
報道機関等から、広報課を介さずに取材依頼や掲載許諾があった場合は総務企画部広報課へご連絡ください。

■ 規程等の制定・改正・廃止（規程等の全文は教職員専用ページに掲載）

No.	項 目	制定・改正・廃止の趣旨	制定・改正・廃止日
1	学校法人兵庫医科大学中医薬孔子学院運営規程	設置に伴い、制定。	平成24年9月25日
2	手術センター運営委員会規程	病院組織の見直しにより中央手術部運営委員会規程を手術センター運営委員会規程へ名称変更し、その他構成委員の一部を変更するため、改正。	平成24年10月25日
3	救命救急センター運営委員会規程	急性医療総合センター開設に向け、センターの運営がより機能的に行われるよう、改正。	平成24年12月1日
4	時間外分働手当に係る取扱内規	暫定内規として運営していたが、平成23年11月より重症診療手当や超過勤務手当等が支給されることになったため、改正。	平成24年10月1日
5	医療安全管理規程	医療事故の報告書を日本医療機能評価機構に併せ、近畿厚生局・西宮市保健所にも提出することとしたため、改正。	平成24年10月2日
6	医療安全管理委員会規程	医療安全管理の推進を図ることを目的として、改正。	平成24年10月2日
7	医療安全管理部運用内規	医療安全管理委員会規程の一部改正に伴い、改正。	平成24年10月2日
8	医療事故等検討部会運用内規	医療安全管理委員会規程の一部改正に伴い、改正。	平成24年10月2日
9	医療事故緊急対応部会運用内規	医療安全管理委員会規程の一部改正に伴い、改正。	平成24年10月2日

■ 学校法人兵庫医科大学 ■ 兵庫医科大学病院

特別寄稿



岩手県立山田病院 内科長 荒金 和美
(兵庫医科大学 平成3年卒)

私が岩手県山田町へ移り住んだのは、2011年7月1日の事です。忘れもしません、あの日、TVに映し出された東日本大震災の映像を前にただ、「行こう」とだけ思った事を覚えています。当時の勤務先への影響を最小限に抑える手配、そして進み始めていた開業準備をキャンセルし、7月1日朝の飛行機で大阪をあとにしました。

岩手県下からは計4つの医療機関のオファーがありました。私が選んだ県立山田病院は、宮古市から南へ20キロほどの沿岸部にあり、被災前は60床を有する町で唯一の公立病院でした。その山田病院の内科診療は、約10年間ほぼ1名の常勤内科医によって支えられ、そして3年前からは、公立病院に内科医が不在という信じられない状態が続いていました。

私が赴任した頃1日20～30人だった内科患者さんは、最近では40～50人と増加傾向です。診察のた

め近隣の市や町まで出かけていた患者さん、内陸部や県外での避難生活を余儀なくされていた皆さんが徐々に山田病院に戻りつつあります。「自分の住む町で診察が受けられる」、そんな当たり前の事に喜びと感謝の言葉を頂き、私の方が恐縮する毎日です。

内科全般から小外科まで、対応の幅はやはり広く求められますが、基幹病院である県立宮古病院の協力を得、日々精一杯頑張っています。復興を歩む山田町そして山田病院に、内科医が補充されるその日まで、私は責任を持ってこの任務を全うしたいと思っています。



多彩人 “吹奏楽を愛する”多彩人

兵庫医科大学病院
看護部 クラーク
森下 存子 さん



現在は3月の演奏会に向けて練習に取り組んでいるという森下さん。難易度の高い曲で、1人1パートでプレッシャーもあるが、いい演奏会にしたいと笑顔を見せてくれた。

看護部クラークの森下存子さんは、中学校の部活動でクラリネットを始め、高校の部活動後約10年のブランクを経て西宮市吹奏楽団に入団し、現在まで活動を続けている。

西宮市吹奏楽団は、昭和39年結成と歴史が深く、関西大会でも金賞に輝くなど実力派の楽団で、レベルの高い演奏を聞かせている。その演奏を支えるため、練習は週に3回、その他にもパート練習や自主練習を重ね、演奏会前などは合宿に参加するなど積極的に活動している。

その練習量を支える集中力の源は、音楽の楽しさはもちろん、自らを取り囲む環境にあるという。楽団の運営に支援・協力を頂いている西宮市の支えや職場・家族の理解、また、家族以上に多

くの時間を過ごす楽団の仲間と切磋琢磨し合い、素晴らしい演奏会にしたいという思いに向かって全員で取り組む。

仕事に練習にと、続けることが辛いと思うことがあっても、演奏会を聴きにきて下さるお客様に対し、半端なことはできないと日々の練習にのぞむ。個人だとなまけ心が出てしまいがちなところも、演奏会の成功を目標に共に頑張る仲間がいるからこそ、自分だけ休むわけにはいかないと自分を律する。

「音楽は頭がクリアでないといけない。練習場の扉を開けたら、音楽以外のことは忘れて練習に取り組むこと」とは楽団の指揮者の先生の言葉で、その言葉を胸に、仕事は仕事、楽団は楽団と気持ちを切り替え、どちらの大変さも自分への言い訳にはせず、

両立させている。逆に、仕事以外に集中して取り組むことができることで、翌日の仕事にも気持ちを切り替えてリフレッシュしてのぞむことができるという。

長く続けていても“初心を忘れない”をモットーに、演奏会の大小にかかわらず、後悔しないように全力で取り組んでいきたいと語ってくれた。



サマーコンサートの様子



クラリネットを演奏する森下さん（手前から2番目）

さまざまな分野で才能を開花させている、極めている、アクティブに活動している“多彩人”の情報をお待ちしています。
自薦・他薦は問いません。総務企画部広報課までご連絡ください。＜電話：0798-45-6655 メール：kouhou@hyo-med.ac.jp＞

私たちの地域、
私たちのフィールド

西宮、神戸、篠山を中心に、観光スポット、イベント、歴史、ニュース、豆知識などを紹介します。

阪神間最大のお祭り
西宮神社 十日えびす(西宮市)

毎年1月9日～11日に、全国のえびす様をまつる神社の総本社として有名な西宮神社で行われるのが「十日えびす」です。3日間で100万人を超える参拝者が商売繁盛などを祈願するために訪れます。いちばんの注目は、テレビ中継などもされる「開門神事 福男選び」。10日の午前6時、閉ざされていた表大門(赤門)が開放されると、詰めかけていた参拝者が230m離れた本殿へと一斉に走り出し、本殿に早く到着した3番目までの人がその年の「福男」に認定されるという行事です。

ほかにも、奉納されたまぐろにお賽銭を貼り付けて商売繁盛・家内安全を祈る「招福だまぐろ」など、見どころもたくさん。約600もの露天などが軒を連ねる阪神間最大のお祭りに、ぜひ足を運んでみてください。

